

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

目黒通り－1



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思いました。2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」と歩きました。「江戸五色不動」の「目黄不動尊」が明治通りの大関横丁交差点先の「永久寺」に、「目白不動尊」が目白通りの高田一丁目交差点下の「金乗院」にありました。

今回は「目黒不動尊」のある「目黒通り」を歩きます。写真上右は目黒通りの道路名標識（都道 312 号線）です。目黒通りは港区白金台の清正公前交差点を起点に品川区、目黒区から世田谷区玉堤の多摩堤通りに至る延長 10 km の道です。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔清正公前交差点〕 港区白金台一丁目

最寄駅 都営三田線 白金高輪駅



都営地下鉄三田線（以下都営三田線）白金高輪駅 3 番出口から地上に出ます。桜田通り（国道 1 号線）を高輪消防署方面に進むと清正公前交差点（写真上左）です。桜田通り（国道 1 号線）は直進すると明治学院大学方面へ、目黒通り（都道 312 号線）は清正公前交差点が起点で右折して目黒駅方面に向かいます。写真上右の道路標識の桜田通りは国道（橙色）で逆おむすびの中に 1 の数字、目黒通りは都道で六角形の中に 312 の数字です。起点の目黒通りは主要地方道なので標識は緑色が使われています。途中からの標識はすべて白色でした。清正公とは戦国武将の加藤清正のことで熊本城の築城や虎退治で有名です。交差点を桜田通り方面に行くと右側に加藤清正公を祀る「覚林寺」（写真下左右）があり、毎年 5 月に清正公祭が開催されます。清正公祭は寅さん歩 90 江戸・東京の祭—19 江戸らしい祭—8 でご覧ください。



目黒通りに戻り、元外務大臣・実業家の藤山愛一郎邸跡に建てられた「シェラトン都ホテル東京」（写真下左）を過ぎると、左に下る桑原坂入口に「古池老稲荷神社」（写真下右）があります。説明板には「文政 13 年に鎮座された江戸の火伏せの神社で江戸の火事のみならず関東大震災にも第二次大戦の空襲にも火災を免れたのは祭神のご利益」と記載。



古池老稲荷神社の先は「八芳園」（写真下左）で敷地は江戸幕府旗本 大久保彦左衛門屋敷の一部で薩摩藩お抱え屋敷、島津家下屋敷を経て明治に入り実業家 渋沢喜作邸や久原房之助邸となり、1950 年（昭和 25 年）日本庭園を持つ本格的な料亭「八芳園」として創業しています。命名は「四方八方どこを見ても楽しい」とのこと。写真下右は長屋門を入った先の園内風景です。



目黒通りに戻り、右側を歩くと 1938 年（昭和 13 年）竣工の「旧公衆衛生院」の建物内に「港区立郷土歴史館」（写真下左）があります。左に正面入口への門がありますが、訪問時は早朝 7 時過ぎで閉まっていました。

寅さん歩 339 東京の博物館めぐりー26 港区ー1 をご覧ください。

写真下右は隣にある「東京大学医科学研究所附属病院」入口です。北里柴三郎がドイツ留学から帰国した当時は日本に感染症の研究所がありませんでした。そのため 1892 年（明治 25 年）福沢諭吉が私財を投じて芝公園に伝染病研究所を設立しました。東京大学医科学研究所附属病院はここが起源で、1906 年（明治 39 年）この地に移設され感染症の研究・治療にあたりました。



〔白金台交差点〕 港区白金台四丁目

最寄駅 都営三田線 白金台駅

写真下右は白金台交差点です。右は外苑西通り（都道 418 号線）です。外苑西通りは新宿区富久町が起点でここが終点です。ここ白金台辺りはお洒落な店が多く「プラチナ通り」とも呼ばれています。目黒通りは直進です。



さらに進むと右側に「国立科学博物館附属自然教育園」(写真下左)があります。敷地は室町時代の白金長者の館、江戸時代の高松藩主 松平頼重の下屋敷、明治時代の陸海軍弾薬庫で、以降は宮内庁管理の白金御料地となり都心に武蔵野の自然が残されました。

詳細は寅さん歩 339 東京の博物館めぐりー26 港区ー1 をご覧ください。



写真上右は自然教育園の隣にある「東京都庭園美術館」入口です。ここも白金御料地の一部で朝香宮邸、吉田茂の外務大臣公邸、迎賓館に使われ、1983 年（昭和 58 年）から東京都庭園美術館になっています。寅さん歩の東京の博物館めぐりでは美術館なので訪問記録はありません。

〔上大崎交差点〕

品川区上大崎 最寄駅 JR 目黒駅

上大崎交差点（写真下右）で外苑西通り（都道 418 号線）と交差します。目黒通り（都道 312 号線）は直進です。右へ行くと天現寺方面、上は首都高速目黒線（国道 2 号線）です。上大崎交差点は港区と品川区の境で交差点を直進すると、すぐ品川区に入ります。



直進して目黒駅（写真下左）から「権之助坂」（写真下右）を下ります。坂の由来は元禄時代 菅沼権之助が切り拓いた坂の説と年貢に苦しむ農民のために年貢軽減を直訴して処刑された菅沼権之助を慕う農民により拓かれた新坂に権之助の名をつけた説があるそうです。権之助坂が拓かれる以前は目黒駅の左側にある急坂の行人坂を下り、目黒川に出ていたとのこと。



権之助坂を下ると「目黒川」で「目黒新橋」（写真下左）を渡ります。目黒川の両側は見事な桜並木で賑わう桜の名所です（写真下右）。

目黒通り沿いは見所満載でした。今回はここまでとして目黒川の桜見物です。



[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。バーチャル 東北復興支援絆ウォークを歩き終えた寅次郎、次はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦します。全行程約 2400 km の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）の芭蕉庵を出発しました。八柳さんのコースシートには都度、芭蕉の歌が掲載されています。

「草の戸も 住み替はるぞ 雛の家」

（注釈：住み慣れて来たこの草庵、折からの弥生の節句に自分の出たあとの草庵は娘・孫を持った新しい主により、華やかに雛を飾る家と変わるが、それに対して今や自分は、棲み処はなく無所在の旅人に出ようとしているのである）

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝